

本市の状況について

1 人口動態(3月現在)

区 分	H29	R3	増減率
総人口	521,702 人	519,965 人	▲ 0.3%
出生数	4,556 人	3,752 人	▲17.6%
高齢者数	124,232 人	132,864 人	6.9%
高齢化率	23.8%	25.6%	1.8pt
単身世帯数	73,337 世帯	89,232 世帯	21.7%

※単身世帯数のみ, H27 と R2 データ

- ・ 総人口は、平成29年(2017年)にピーク(推計人口:520,197人)を迎え、その後は減少に転じている。
- ・ 出生数は、減少している。
- ・ 高齢者数及び高齢化率は、ともに増加している。
- ・ 単身世帯や核家族世帯数は、増加している。

2 要支援者の状況

区 分	H29 年度	R3 年度	増減率
要介護認定者数	20,309 件	23,405 件	15.2%
障がい者手帳交付件数	22,754 件	24,905 件	9.5%
身体障がい者手帳	15,098 件	15,337 件	1.6%
療育手帳	4,077 件	4,729 件	16.0%
精神障がい者保健福祉手帳	3,579 件	4,839 件	35.2%
児童虐待新規通告受付数	99 件	212 件	114.1%
自立相談支援事業新規相談受付件数	816 件	2,312 件	183.3%

- ・ 要介護認定者数は、増加している。
- ・ 障がい者手帳交付件数は、身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳いずれも増加している。
- ・ 児童虐待新規通告受付数は、増加している。
- ・ 生活困窮者自立相談支援事業新規相談受付件数は、増加している。

3 保健福祉拠点における複雑化・複合化した問題を抱える方の状況

(1) 保健福祉拠点（子育て世代包括支援センター）における状況（年度末現在）

「保健福祉総務課調べ」より

	R元	R2	R3
支援件数	702	809	916

複雑化・複合化したケースの主たる支援種別の内訳

	R元	R2	R3
母子	590	679	769
成人	14	20	22
難病	9	16	11
感染症	1	15	11
精神	86	78	101
高齢	2	1	2
計	702	809	916

⇒ 保健福祉拠点（子育て世代包括支援センター）が支援する複雑化・複合化したケースの支援件数は年々増加しており，その支援種別は母子が約8割を占めている。

(2) 地域包括支援センターにおける複雑化・複合化したケース状況

「高齢福祉課調べ」より

	R元	R2	R3
個別ケア会議の開催件数	14	23	38

⇒ 地域包括支援センターが開催する高齢者世帯に係る複雑化・複合化した問題を抱えるケースを含めた個別ケア会議の開催件数は，増加している。

4 成年後見に関する状況

(1) 成年後見制度利用者数

	後見	保佐	補助	任意後見	合計	
宇都宮市	(H30.11.1時点)	424人	48人	31人	11人	514人
	(R3.10.1時点)	408人	60人	36人	8人	512人
栃木県	(H30.11.1時点)	1,744人	237人	86人	26人	2,093人
	(R3.10.1時点)	1,763人	298人	95人	16人	2,162人
全国	(H30.12末時点)	169,583人	35,884人	10,064人	2,611人	218,142人
	(R3.12末時点)	177,244人	46,200人	13,826人	2,663人	239,933人

- ・ 成年後見制度利用者数は、本市及び県においてほぼ横ばいとなっており、全国においては、増加している。

(2) 成年後見に関する相談件数・申立件数

	高齢者 ※1	知的障がい者 ※2	精神障がい者 ※3	権利擁護・ 成年後見センター※4
H28年度	84件	1件	3件	83件
H29年度	69件	6件	4件	58件
H30年度	107件	4件	7件	56件
R元年度	48件	9件	7件	51件
R2年度	93件	7件	10件	69件
R3年度	81件	6件	10件	97件

- ※1 地域包括支援センターの初回相談数 ※2 障がい者生活支援センターの同相談数
 ※3 保健予防課の同相談数 ※4 権利擁護・成年後見センター（市社協）の同相談数

- ・ 成年後見に関する相談件数・申立件数は、高齢者、知的障がい者、精神障がい者において増加傾向にある。

(3) 成年後見制度利用支援事業実績

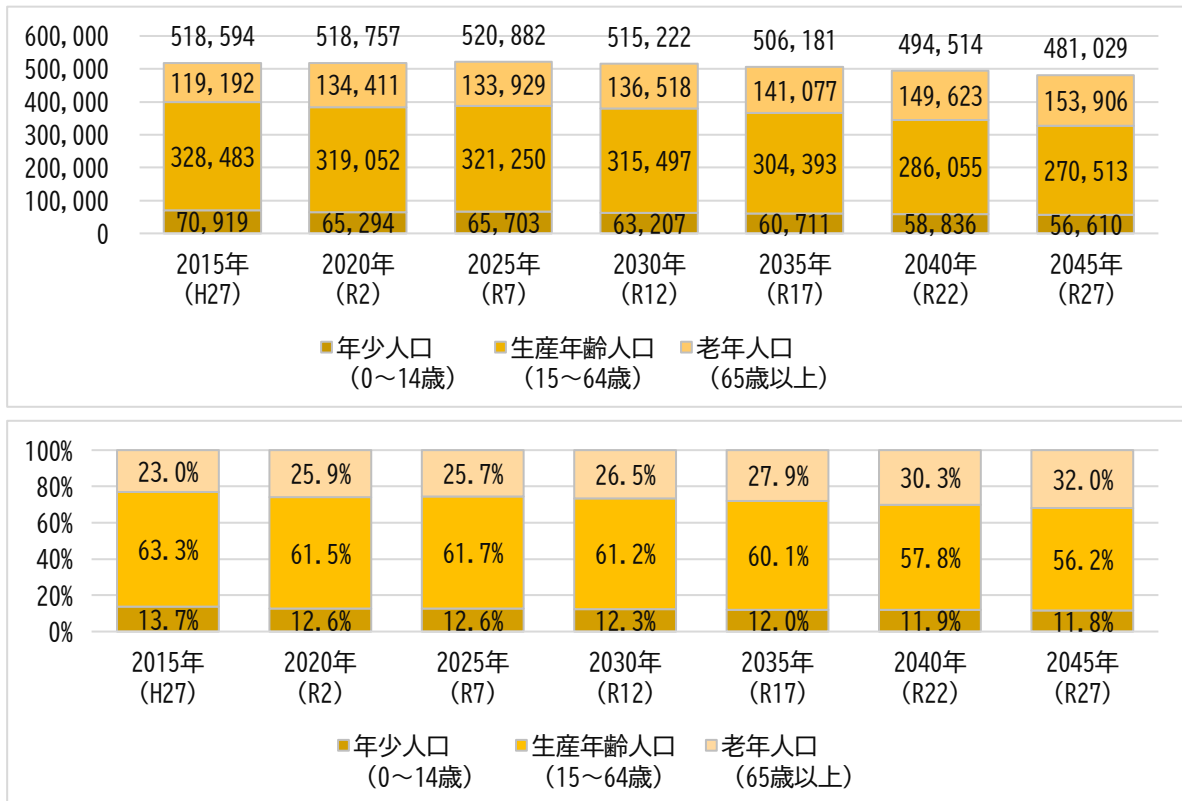
年度	市長による審判の申立て件数				後見人等への報酬費用の助成件数			
	認知症	知的	精神	合計	認知症	知的	精神	合計
H29年度	5	2	2	9	1	4	2	7
H30年度	3	0	3	6	3	4	3	10
R元年度	3	0	0	3	5	9	6	20
R2年度	4	1	3	8	9	6	6	21
R3年度	14	0	5	19	9	9	5	23

- ・ 成年後見制度利用支援事業実績については、市長による審判の申立て件数・後見人等への報酬費用の助成件数ともに増加傾向にある。

5 人口・世帯数の推移

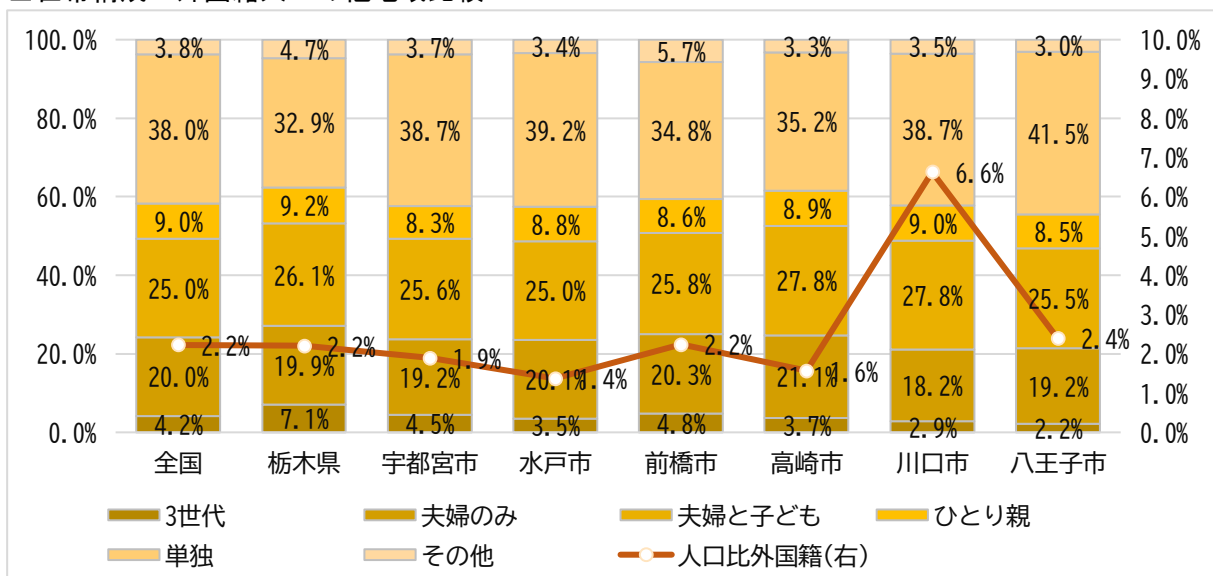
- 人口は令和7年（2025年）にピーク（推計人口：520,882人）を迎え、その後は減少に転じる見込みとなっている。
- 老年人口（65歳以上）比率は将来も増加傾向である一方、年少人口（0～14歳）比率は将来も減少傾向にある。

■年齢3区分（実数・割合）の人口推移予測



(資料) 国立社会保障・人口問題研究所 2018年人口推計

■世帯構成・外国籍人口の他地域比較



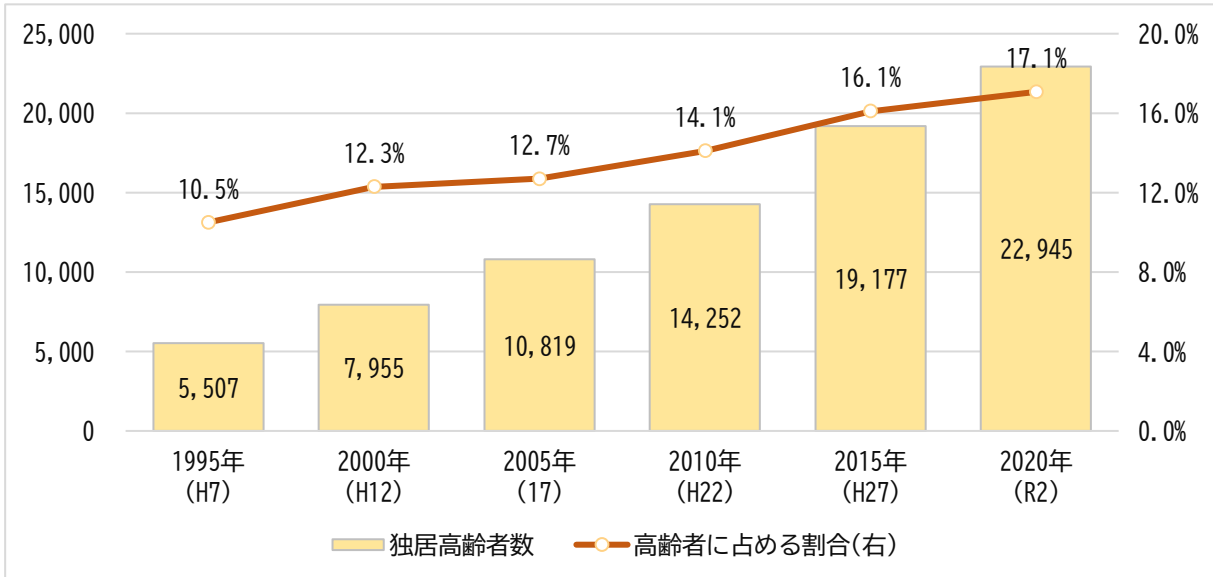
(資料) 国勢調査 2020年

6 要支援者の推移

(1) 高齢者

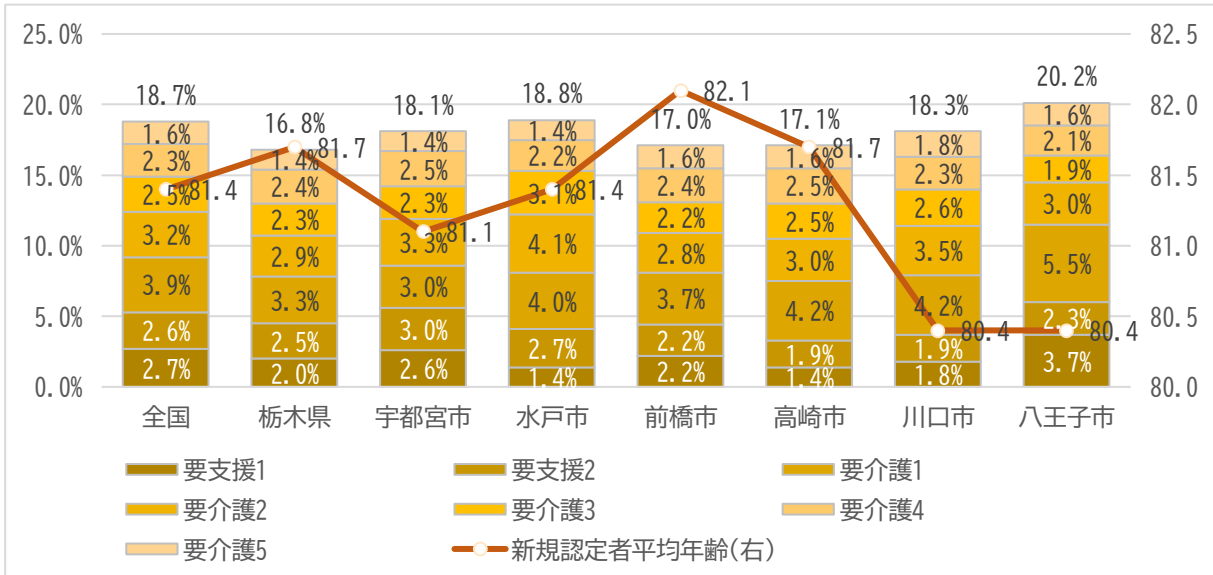
- ・ 高齢者単身世帯は増加傾向にあり、高齢者人口に占める単身世帯の割合も増加傾向にある。
- ・ 年齢・性調整済みの要介護・要支援認定率は、全国より低く県より高くなっている。
- ・ 新規の要介護認定者の平均年齢は、全国及び県よりも若くなっている。

■単身高齢者数



(資料) 国勢調査 2020年

■調整済み要介護・要支援認定率

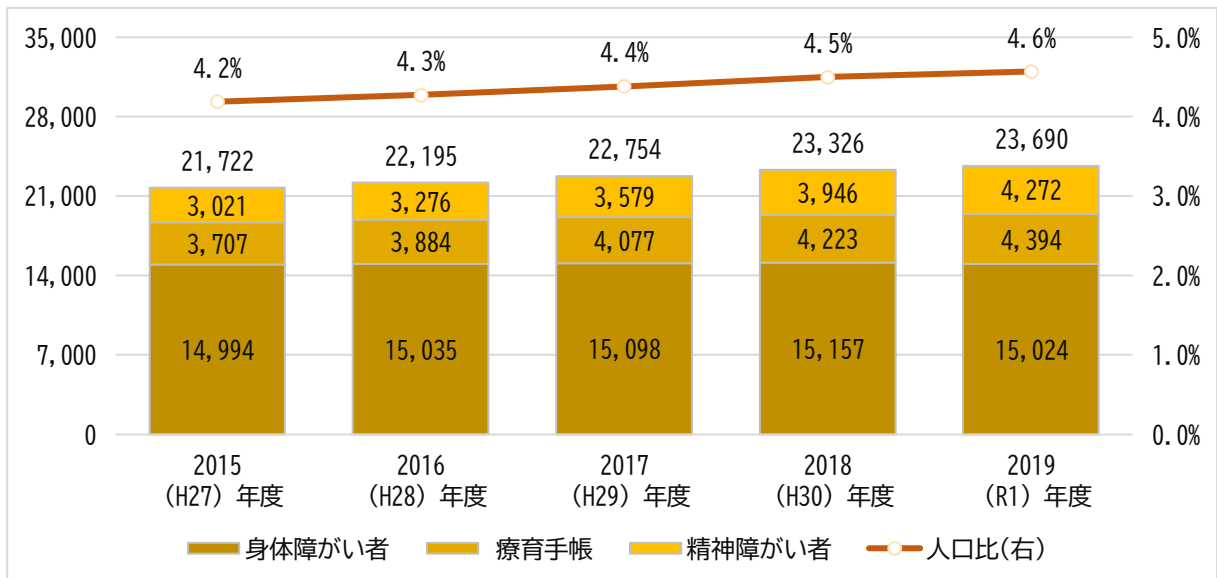


(資料) 地域包括ケア「見える化」システム 2021年

(2) 障がい者

- 本市における障がい者手帳所持者は、3障がい（身体・知的・精神）すべて増加傾向にある。

■障がい者手帳所持者の推移

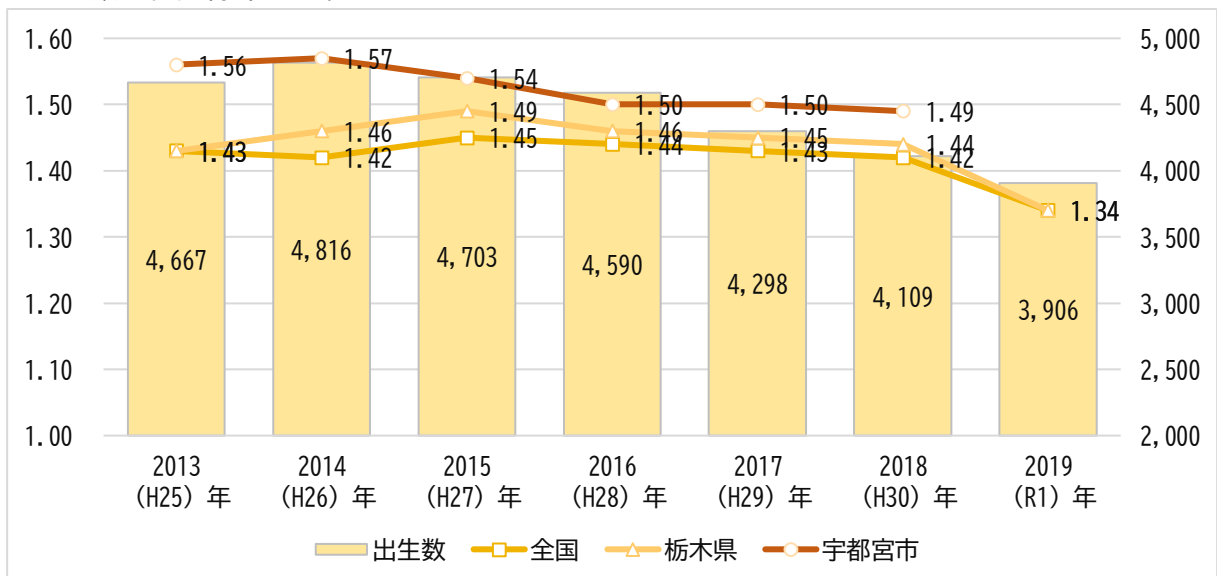


(資料) 第6期宇都宮市障がい福祉サービス計画・第2期宇都宮市障がい児福祉サービス計画

(3) 子ども

- 出生数は平成26年度以降、低下傾向にある。
- 本市の合計特殊出生率は、全国や県を上回っているものの全般に低水準で推移しており、かつ、平成26年度以降、低下傾向にある。
- 児童扶養手当受給者の世帯は、離婚した母子世帯比率が全国より高い一方、父子世帯比率が全国より低くなっている。

■出生数・合計特殊出生率

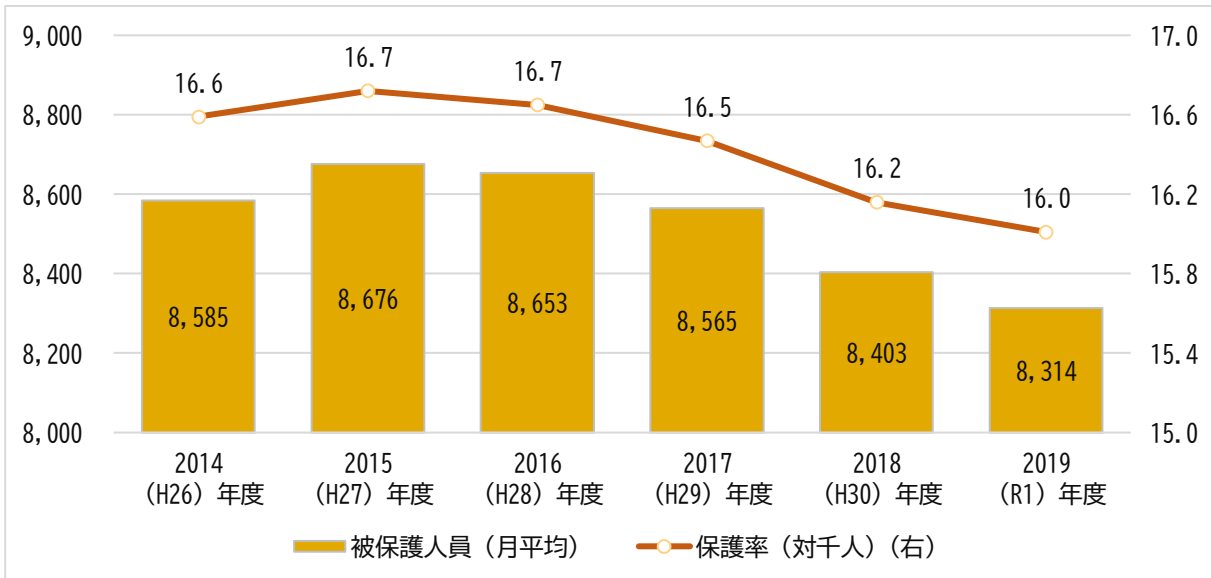


(資料) 栃木県保健統計年報，宇都宮市人口統計，出生数は年度

(4) 生活困窮者

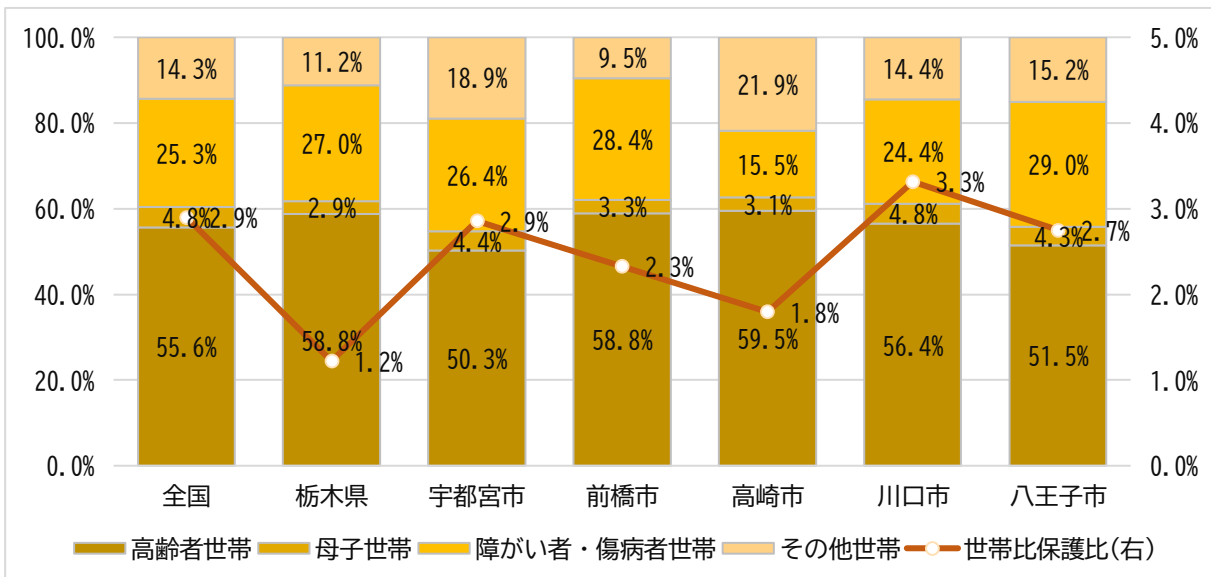
- ・ 本市の生活保護受給率は、平成 27 年度をピークに、近年は減少傾向がみられる。
- ・ 全国や県と比較すると本市の生活保護世帯は、高齢者世帯比率が低く、障がい者・傷病者世帯比率が高くなっている。総世帯に占める生活保護世帯比率は、全国とほぼ同じであるが県より高くなっている。

■被保護人員の推移



(資料) 宇都宮市 生活福祉第 1 課, 第 2 課

■生活保護世帯の他地域比較

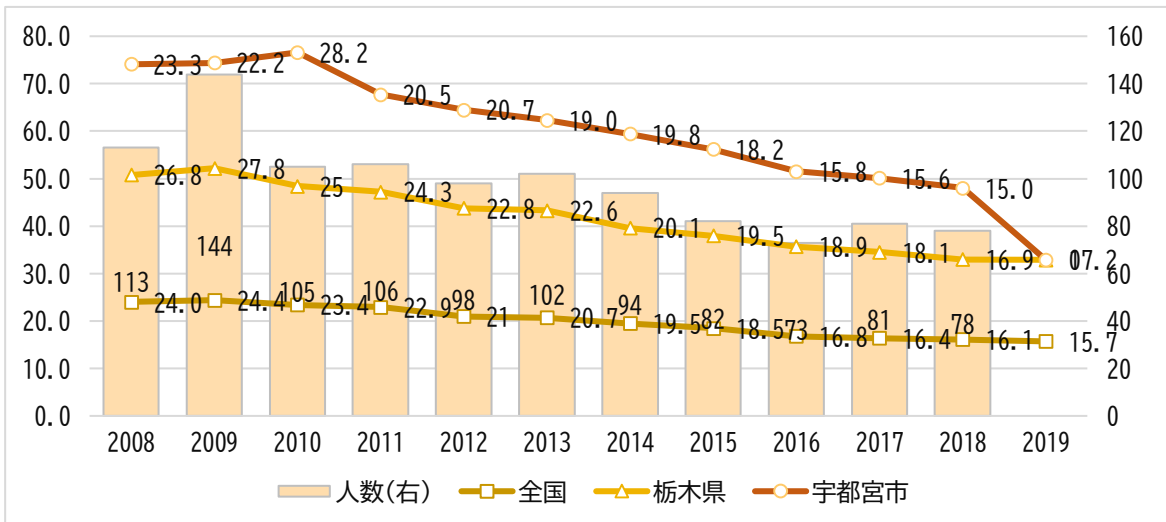


(資料) 厚生労働省 被保護者調査 2019 年度

7 自殺

- ・ 本市の自殺者数（人口10万対）は低下傾向にあるが、全国・県と比較して高くなっている。

■自殺者数（人口10万対）の推移

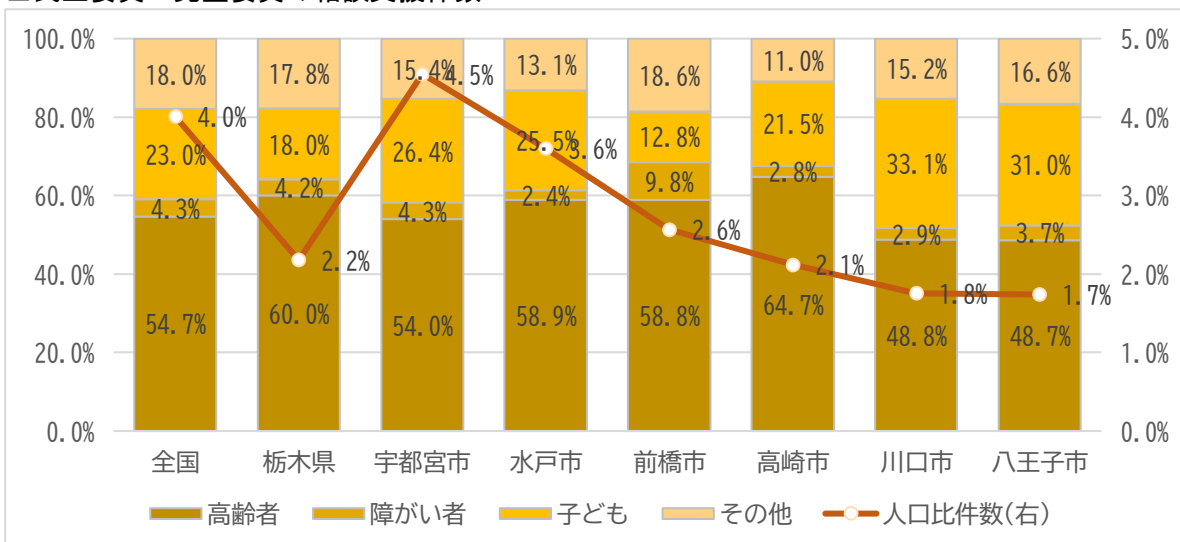


(資料) 栃木県 保健統計年報

8 民生委員・児童委員の活動

- ・ 全国・県と比較して民生委員・児童委員の相談支援は、子どもに関する件数割合が高く、高齢者に関する件数割合は、若干低くなっている。
- ・ 人口あたりの相談支援件数は、全国・県と比較して多くなっている。

■民生委員・児童委員の相談支援件数



(資料) 厚生労働省 福祉行政報告例 2020年度